

ご挨拶

令和8年4月1日
山辺町立山辺中学校
校長 山口 裕靖

山辺町立山辺中学校校長を拝命しました山口裕靖と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

美しい自然に囲まれた森と湖沼のふるさと、そして、ニット・ファッションで有名な、歴史と伝統・文化に溢れる山辺町で教育活動に携われることに誇りを感じ、また、その使命の重さに身の引き締まる思いです。

私は、平成27年度から令和4年度までの8年間、教諭として本校にお世話になりました。生徒たちの姿から多くのことを学び、保護者の方や地域の方から支えていただきました。当時も今も、山辺中の生徒はエネルギーに満ち、常に目を輝かせ学習や行事に取り組んでいます。そして、今年度で12年目となる、木のぬくもりと光に溢れる素晴らしい校舎で過ごせることは、生徒・教職員にとって大変幸せなことであり、感謝に堪えません。

さて、現在の社会は、いわゆるVUCAの時代であり、価値観の多様化、少子高齢化やグローバル化の進展、イノベーションなど、教育を取り巻く状況は大きく変化しています。また、いじめ・不登校や教職員の働き方改革など、解決すべき課題も山積しています。さらに、感染症や熱中症、クマ対応など、生徒の命を守る危機管理体制も問われています。

そのような状況を踏まえ、山辺町が誇る「世界の良心」安達峰一郎博士の教えを礎とし、「いのち・絆・学び」を尊ぶ学校づくりを土台に、以下のように学校づくりを進めてまいります。



- | | |
|-----------|---|
| 【学校教育目標】 | 「ふるさとを愛し、自他の幸福を追求し、逞しく生きる生徒の育成」 |
| 【めざす生徒像】 | 1 地域とつながり、地域と共に歩む生徒
2 自他の「生命」と生き方を尊重し、認め合い、高め合う生徒
3 自立のために、主体性を持って学び、行動する生徒 |
| 【経営の3本の柱】 | 1 自立に向けてねばり強く学ぶ生徒の育成
2 広く深く思考する授業の創造
3 自己更新（アップデート）の営みを止めない教職員集団 |

生徒のウェルビーイングのために、まず第一に『自立した学習者の育成を目指した「楽しくわかりやすい授業」づくり』を推進します。授業において、生徒の興味・関心を大切にし、つまづきや悩み等を踏まえきめ細やかに指導・支援を行い、誰一人取り残さない個に応じた指導の充実を学校全体で図ります。

また『生徒指導の4視点を柱とした教育活動の推進と子どもたちの主体性・意見の尊重』を大切にします。教育活動全体を通し、自己選択や自己決定の場面を意図的に設定すること、自己有用感を高め自己存在感の感受につなげていくこと、心理的に安全・安心な環境を整えることを推進します。



さらに、教職員のウェルビーイングのために『「同僚性」を土台とした「働きやすさ」と「働きがい」の実現を目指し、温かい人間関係の構築、心理的に安全・安心な職場の風土の醸成を図ります。「働きやすさ」実現のために働き方改革を更に進め、保護者の方や地域の方とのつながりや信頼関係を大切にします。また「働きがい」実現のために、教職員がそれぞれの長所や専門性を生かし、目標に向かって挑戦できる職場づくりに努めます。

新年度を迎え気持ちを新たに、教職員37名がひとつになって、生徒336名の教育活動の充実に努めてまいります。ご理解・ご協力の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。